

草津市が、『2017年度 学校情報化先進地域』に選ばれました！！

～市レベルでは、全国で2番目～

学校政策推進課 宇佐 恒浩

各小中学校の教職員の皆さん、おめでとうございます。

8月末、草津市が、『2017年度 学校情報化先進地域』に選定されました。全国の市レベルでは、昨年選定された茨城県のつくば市に次いで、全国で2番目の受賞となります。（東京都の日野市、佐賀県の武雄市も同時選定。）この快挙は、これまでの教育情報化への取組や頑張りが、実を結んだ成果です。

「学校情報化先進地域」とは、日本教育工学協会(JAET)が、教育の情報化を推進するために行っている学校情報化認定事業における「学校情報化優良校」が8割以上になった自治体に応募資格が与えられ、同協会に設けられている学校情報化選定委員会による審査を経て選定されるものです。本市では、18の小中学校が「教育情報化優良校」に認定されており、残り2校も申請中です。つまり、各小中学校が、教育情報化の校内推進体制を整え、教科指導におけるICT活用や情報活用能力の育成に励み、校務の情報化に積極的に取り組んできた結果なのです。



現在、各学校のホームページには、「教育情報化優良校」のロゴが掲載されておりますが、これからは、右上「学校情報化先進地域」のロゴも並べて掲載することが可能となりますので、ぜひご掲載ください。

本市のICT教育環境や校務の情報化の取組、草津型アクティブ・ラーニングの授業実践は、早くから全国の注目を集めています。本年1月の草津市学校教育フォーラムに続き、主催：一般財団法人日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教具連合会、共催：文部科学省「eスクール ステップアップ・キャンプ 2017西日本大会」が、平成30年2月3日（土）に、草津市立サンサンホールで開催され、その中でも本市の取組を発表することになっています。当日は、県内外から300～400名の参加者が見込まれています。

さて、全国から注目される中、今後、我々は、何をしていかなければならないのでしょうか？学校情報化先進地域に選定された今だからこそ、恵まれたICT環境の草津市だからこそ、立ち止まって考えてみましょう。

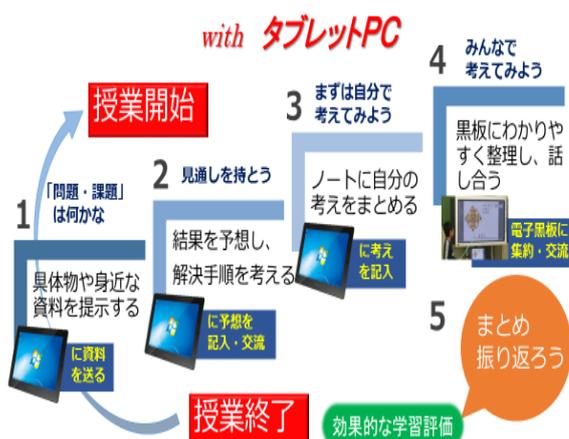
これまでの実践から、ICTを活用した授業改善が、子どもの理解や学ぶ意欲に結びついていることは明らか

です。とすると、すべきことは、ICT機器を有効に活用した「草津型アクティブ・ラーニングの更なる実践」に他ならないと思います。

- ・学びを確かにするICT活用の方法は？
- ・情報活用能力の系統は？
- ・対話的で深い学びに繋がるICT活用のポイントは？
- ・新たな学びを生み出すICTの活用は？

本市の基本スタイルである「草津型アクティブ・ラーニング」を今後も全市で、全教員で、広め深めていきましょう。

### 草津型アクティブ・ラーニング基本的学習スタイル





## オクリンクを活用した授業づくりに挑戦 <スキルアップ夏季支援講座>



小学校教員向け講座は志津小学校において、7月27日の午後と7月28日の終日、中学校教員向け講座は高穂中学校で8月4日の午前にスキルアップ支援夏季講座を実施しました。

小学校では低・中・高学年に分かれて、中学校では教科別にグループをつくり、前半はオクリンクの機能と活用場面についての研修、後半はグループごとにオクリンクやムーブノートを活用した教材作成と模擬授業を行いました。

模擬授業では、短時間にもかかわらず、様々な工夫された発表に、参加者から下記の感想にもあるように「たいへん参考になった。」という声が多く寄せられ、充実した研修となりました。



スキルアップアドバイザーとICT支援員による研修



さあ！オクリンクを使った教材作成にチャレンジ！



ICT支援員によるアドバイス



オクリンク、ムーブノートを活用した模擬授業の様子

### 参加者の感想

・オクリンクの存在は知っていたがどう活用していくかわからず使えていなかった。ムーブノートを使ってアンケートをしたり、インターネットの写真や音声を取り入れたりと様々な仕方があることを知り、もっと授業で使ってみたい。今日の学びを学年で共有して、よりよい授業を作っていきたい。

・普段の授業ではICT機器の活用が少なかったので今回の講座はとても吸収することが多くうれしかった。オクリンクでは授業だけでなく様々な場面で使えると思います。また、2学期の授業の準備もでき、他の先生の意見や考えを参考にしながら、今後の授業案をしっかりと考えていきたいです。とても実のある講座で楽しく受講できました。

・2学期以降の授業の組み立てをし、様々なアイデアに出会うことができたため、1学期よりもさらに活用していこうと思いました。タブレットをうまく活用し、子どもが主役となれる授業づくりをしていきたいです。

・実際に自分が操作しながら学ぶことができ、タブレットを用いた学習の利点を体感することができた。オクリンクも私が思っていた以上に様々な機能があることを知ることができたのであらゆる教科で実践できるように休みを利用して教材研究に励みたいと思います。そして主体的な学びができる児童を育てたいです。

・今日の研修は、生徒の立場になって体験しながら楽しく学べたので生徒もこういう授業であれば学習への意欲も高まるのではないかと考えた。タブレットなどICT機器は、生徒の理解を促すための一つのツールとしてこれからは効果的に使っていきたい。



## 司書さんおすすめの絵本



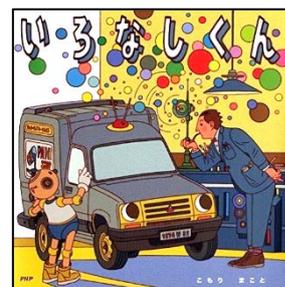
『モリくんのおいもカー』 かんべ あやこ/作 くもん出版

コウモリのモリくんがさつまいもで作ったおいもカーを走らせていると、おなかをすかせた動物に会いました。おいもカーのおいもを分けてあげて、みんなでドライブに出発です。「だったら たのしい おいもカー」と言いながら、車に乗る動物たちはみんな楽しそうに、読んでいると自然と顔がほころびます。小さくなっていくおいもとは逆に、大きくなっていく笑顔に心惹かれる作品です。



『いろなしくん』 こもり まこと/さく・え PHP研究所

ペンキ屋さんの車のいろなしくんは、色がついていないはい色です。ある日、いろなしくんは色の研究をしているおじさんに、いろいろな色になりたいと頼みました。そこで、おじさんは特別な装置を使っていろなしくんに色をつけてあげました。いろなしくんはどんな色の車になるのでしょうか？自分のことは嫌いじゃないけれど、ちょっとり他の色も気になる、そんな気持ちがよく分かります。



『キッキとネネのかくれんぼ』 本田 雅也/作 ももろ/絵 教育画劇

ふたごのなかよしきつねのキッキとネネは、かくれんぼをして遊ぶことにしました。二匹とも変身が大得意で、他の動物たちに交じるとどこにいるのか分かりません。けれど、やっぱりどこかおかしいみたいです。大人も子どもも一緒にあてっこを楽しむことができます。



## 草津市教職員自己啓発講座

## 第3回 秋の作品展に向けて2 ～いきいきとした子どもの表現を導くために～

9月8日

講師：滋賀大学教育学部附属小学校教諭 山田 和美 さん

## 主な内容

- ・平面についての指導
- ・制作中の絵を見て助言
- ・いくつかの技法の紹介と体験

## 参加者の感想



- 同じ学年の子どもたちの絵を見て題材や技法・素材を学ぶことができました。どう言ったら絵を仕上げていくことができるか日々悩んでいたのですが、そのヒントを得ることができ、日々の保育の中で活用していきたいと思えます。
- 前半のお話、後半の実践、両方とてもよかったです。図工のことが全く分からなかったし、悩んでいたのですが、自分が楽しみながら取り組むことができ、また、いくつかの技法も体験できてよかったです。来週から子どもたちと一緒に頑張ります。
- 図工の指導が上手いはず迷っていたのですが、ご指導いただいたことでイメージがわきました。指導に生かしたいと思えます。